

計算書類に対する注記（社会福祉法人せきれい）

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ・製品及び仕掛品－売価還元原価法による原価法
- ・商品、原材料及び貯蔵品－最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産－定額法
- ・無形固定資産－定額法

(3) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金－職員の賞与に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

4. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は愛知県民間社会福祉事業職員共済会の退職共済制度によっている。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の財務諸表（第一号第一様式、第二号第二様式、第三号第三様式）
- (2) 事業区分別内訳表（第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式）
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア ワークスあおい拠点（社会福祉事業）

「ワークスあおい」

「本部」

イ あちーぶ拠点（社会福祉事業）

「あちーぶ」

ウ 彩拠点（社会福祉事業）

「彩」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基) 定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
合計	10,000,000	0	0	10,000,000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし

円

計

円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし

円

計

円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	682,500	682,499	1
車両運搬具	12,227,299	9,857,202	2,370,097
器具備品	6,940,145	6,667,418	272,727
合計	19,849,944	17,207,119	2,642,825

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	3,717,226		3,717,226
未収金	14,575		14,575
合計	3,731,801		3,731,801

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の 内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の 兼務等	事業上の 関係				
	該当なし										

取引条件及び取引条件の決定方針等

.....

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

あちーぶ拠点は3月31日をもって閉鎖となり、「あちーぶ」は4月以降ワークスあおい拠点へ編入される。

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし